

実施日・・・平成31年4月18日

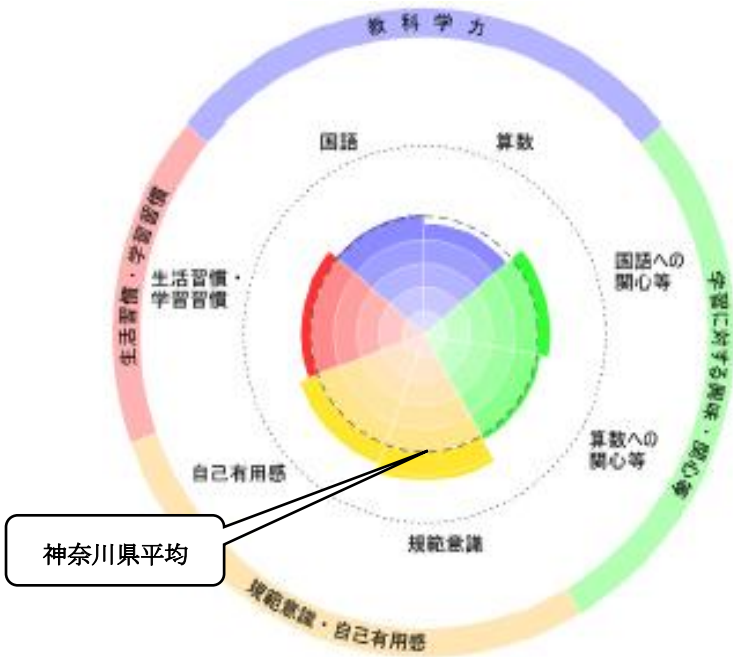
実施人数・・・6年生 76人

神奈川県基準

平均正答率

国語は60%【全国63.8%、県61%】

算数は64%【全国66.6%、県67%】



神奈川県平均

国語の正答数は、14問中【全国8.9】【県8.5】に対して【本校8.4】と下回った。特に、誤答が2問未満の割合は【14.5、12.7】に対して、【5.2】と大幅に低い。しかし、正答が4問以下の数は13.1%と県よりも2.5%低かった。

算数では、14問中【全国9.3、県9.4】に対して【本校8.9】と下回った。特に、誤答が3問未満の割合は【22.4%】であり、【28.5%、30.4%】と大きく下回った。また、正答が4問以下の数も11.8%と、3%以上多い結果となった。

国語では、「相手に分かりやすく伝える工夫を捉える」「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」など「書く能力」を問われる問題で、全国、県よりも低かった。また、既習の漢字を文章の中で正しく使う問題では、正答率80%の漢字もあれば、25%しか正解しない漢字もあった。

算数では、「加法と乗法の混合した整数と小数の計算」「資料の2つの数量が何倍になっているかを読み取る問題」など、【数と計算】【数量関係】の領域の問題が平均よりも低かった。

今後も、既習事項の定着が図れるような指導を継続していく。また、児童が自分の思いや考えを伝えたり、発表したりする場面を多くつくり、学習の中での振り返りをしっかり行い、思いや考えを表現することを習慣化したりして、言語活動の充実を図っていく。また、読書に親しみ、自分の伝えたいことを伝えられる言語力をつけられるように引き続き、児童が見通しをもって学習したり、活動したりすることができるよう支援、指導をしていく。

